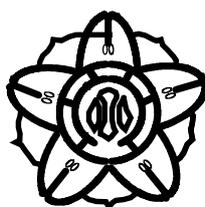


**令和3年度  
全国学力・学習状況調査  
学校の調査結果**



**令和3年12月  
海老名市立門沢橋小学校**

令和3年度

# 全国学力・学習状況調査について

## 調査の目的

- (1)義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2)学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3)そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

## 調査の対象

国・公・私立学校の小学校第6学年、中学校第3学年 原則として全児童生徒

## 調査内容

### (1)教科に関する調査(国語, 算数・数学)

出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。

- ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ②知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

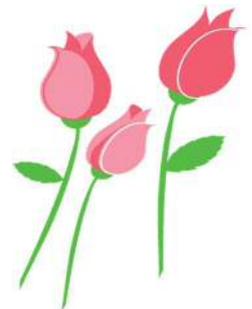
調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。出題形式については、記述式の問題を一定割合で導入する。

### (2)生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

| 児童生徒に対する調査  | 学校に対する調査  |
|---|---|
| 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査<br>(例)調査教科への興味・関心、読書時間、勉強時間の状況、ICT機器の使用状況、生活習慣 など | 指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査<br>(例)授業の改善に関する取組、指導方法の工夫、学校運営に関する取組、家庭・地域との連携の状況 など |

## 調査実施日

令和3年5月27日(木)



# 小学校 国語

## 出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・目的に応じ、話の内容が明確になるようにスピーチの構成を考えることができるかどうかをみる。
- ・資料を用いた目的を理解することができるかどうかをみる。
- ・目的や意図に応じ、資料を使って話すことができるかどうかをみる。
- ・文章全体の構成を捉え、内容の中心となる事柄を把握することができるかどうかをみる。
- ・思考に関わる語句の使い方を理解し、話や文章の中で使うことができるかどうかをみる。
- ・目的に応じ、文章と図表とを結び付けて必要な情報を見付けることができるかどうかをみる。
- ・目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約することができるかどうかをみる。
- ・自分の主張が伝わるように、文章全体の構成や展開を考えることができるかどうかをみる。
- ・目的や意図に応じて、理由を明確にししながら、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる。
- ・文の中における主語と述語との関係を捉えることができるかどうかをみる。
- ・文の中における修飾と被修飾の関係を捉えることができるかどうかをみる。

## 本校の調査結果

### ◆比較的できている点

- 目的に応じ、話の内容が明確になるようにスピーチの構成を考えることができている。
- 思考に関わる語句の使い方を理解し、話や文章の中で使うことができている。

### ◆課題のある点

- 初めて取り組む報告文や説明文を読解することに時間がかかり、時間内に全ての問いに解答することに課題があります。
- 文字数の制限や文章から複数の事柄を抽出する等、条件に合わせ、自分の考えをまとめて書くことに課題があります。

## 今後の具体的な指導改善のポイント

- 国語の学習を中心に、引き続き習得した漢字や語句を読んだり、書いたり、文章の中で活用したりする機会を増やしていきます。
- 各教科において、意図的に多様な文を読む機会を設け、読解力が向上するよう指導していきます。
- 各教科において、自分の考えを書く機会をより多く設け、題意に沿って考えをまとめる力が向上するよう指導していきます。

# 小学校 算数

## 出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・問題場面から、必要な数量を選択し、事柄や関係を数学的に表現・処理することができるかどうかをみる。
- ・伴って変わる二つの数量の関係について考察できるかどうかをみる。
- ・異種の二つの量の割合として捉えられる数量の比べ方や表し方について理解しているかどうかをみる。
- ・日常生活に必要な時刻を求めることができるかどうかをみる。
- ・基本図形の面積の求め方について理解しているかどうかをみる。
- ・量の基本的な性質について理解しているかどうかをみる。
- ・図形の計量について、図形を構成する要素などに着目して捉え、筋道を立てて記述できるかどうかをみる。
- ・棒グラフから、データの特徴や傾向を読み取ることができるかどうかをみる。
- ・データを二つの観点から分類整理し、表に表したり読み取ったりすることができるかどうかをみる。
- ・帯グラフから、複数のデータについての項目の割合を比較し、データの特徴を捉え、表現することができるかどうかをみる。
- ・設定した問題に対して集めるべきデータを判断することができるかどうかをみる。
- ・除法の結果について、日常生活の場面に即して判断することができるかどうかをみる。
- ・除法の意味について理解しているかどうかをみる。
- ・小数を用いた倍の意味について、数の表し方の仕組みや数を構成する単位に着目して理解し、考え表現することができるかどうかをみる。

## 本校の調査結果

### ◆比較的できている点

- 棒グラフから、資料の特徴や傾向、比較量が基準量の何倍かを読み取ることができています。
- 図や表に示された情報を読み取り、立式することができています。

### ◆課題のある点

- 示された文章を読み、道筋をたてて解き方を考えて、複数の数量から必要なものを選ぶことに課題があります。
- 基本的な図形の面積の求め方は理解していますが、見方が変わったり複合的な図形の面積を求めたりすることに課題があります。

## 今後の具体的な指導改善のポイント

- 家庭学習の習慣化を一層図りながら、今後も基礎的・基本的な学習を、低学年から積み上げていきます。
- 問題におけるそれぞれの数量が何を意味するのか判断できるように、日常の言葉を大切にしながら指導を国語の学習とあわせて積み重ねていきます。
- 体験的な学習を通して、図形の意味を理解したり、図形の性質を見つけたり確かめたりできるように授業を充実させていきます。

# 児童質問紙

## 学習について

### ◆本校のよかったところ

- 道徳の授業において、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる意識が高いといえます。
- 算数の問題の解き方がわからないときは、あきらめずにいろいろな方法を考え答えを導きだそうとしています。
- 今までに受けてきた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができている、とても意欲的です。
- 英語の勉強は好きですと回答した児童の割合が、全国平均より上回っています。

### ◆本校の課題と思われるところ

- 国語のテストにおいて、45分間の解答時間では足りないと感じた児童は、全国平均よりも約17%多くいます。
- 平日において、学校の授業以外に1時間以上学習している児童の割合は、全国平均より約10%下回っています。

## 生活について

### ◆本校のよかったところ

- 毎日、同じくらいの時間に寝て、毎日、同じくらいの時間に起きている児童の割合が、全国平均より約10%上回っていて、規則正しい生活習慣が身につけていることがわかります。
- 自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしている児童の割合が、全国平均に比べて約10%上回っています。
- 学校に行くのは楽しいと感じている児童の割合が、全国平均に比べて約10%上回っています。

### ◆本校の課題と思われるところ

- 自分には良いところがあると思っている児童の割合が、全国平均と比べて約7%下回っています。
- 人の役に立つ人間になりたいと思っている児童の割合が、全国平均に比べて約13%下回っています。

## 今後の具体的な取組について

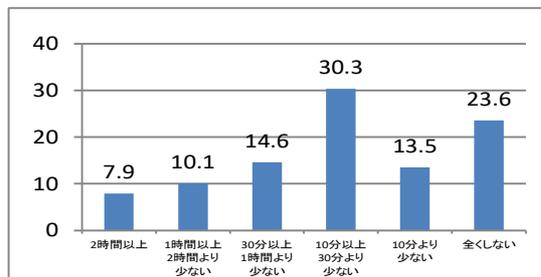
- 今後も道徳の授業を充実させ、よりよく生きていくための基盤となる道徳性を養うようにしていきます。
- ALTの協力のもと、外国語・外国語活動の授業の充実を図っていきます。
- さらなる読解力を養うために、「わくわくブックタイム」など読書活動に力を入れていきます。
- 自己肯定感を育てるために、各教科、道徳、学活などの活動を通してひとりひとりの良さを認めていきたいと思っています。

# ご家庭で取り組んでいただきたいこと

令和3年度全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい4つの項目」をまとめました。ぜひ、取り組んでみてください。グラフは本校の児童質問紙の結果です。

## 1 家庭でも読書の時間を設けましょう。

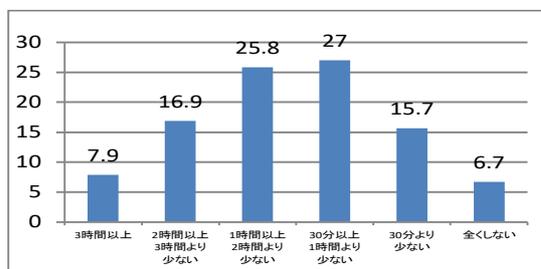
読書を継続的に行うことで、学力の基礎となる読解力を身に付けることができます。



学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書しますか(教科書や参考書、漫画や雑誌を除く)

## 2 家庭学習の習慣を身に付けましょう。

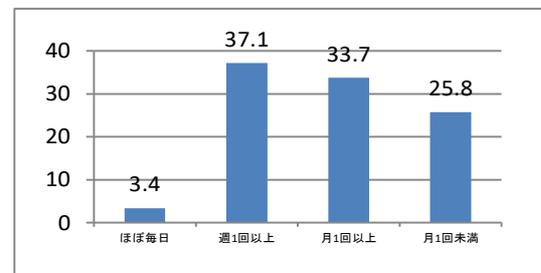
家庭学習は毎日続けることで習慣化されます。お子さんに合った学習時間を設定していきましょう。



学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)

## 3 ICT 機器に積極的に触れるようにしましょう。

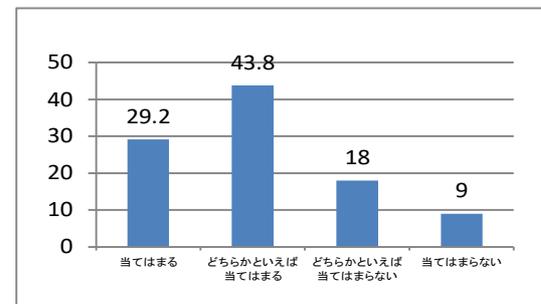
学校では、一人一台端末等の ICT 機器を活用する機会が増えました。家でも機器に触れましょう。



あなたは学校で、コンピューターなどの ICT 機器を、ほかの友達と意見を交換したり、調べたりするために、どの程度使用していますか

## 4 子どものよさを認め、褒めましょう。

褒められることで自己肯定感が高まり、自分に自信を持つことができ、積極性が培われます。



自分には、よいところがあると思いますか

## 資料 学習・生活習慣と学力の関係

文部科学省が全国の児童生徒の調査結果を分析したところ、次のようなことがわかりました。海老名市全体の分析でもまったく同じ結果が出ています。

次のような児童生徒ほど、教科の平均正答率が高い傾向にあります。  
(教科に関する調査、児童生徒質問紙調査より)

### 【教科への関心・意欲・態度】

- ・国語、算数・数学に対する関心・意欲・態度が高い

### 【基本的な生活習慣】

- ・朝食を毎日摂る
- ・毎日、同じくらいの時刻に寝る
- ・コンピュータやスマートフォン等でゲームをする時間が短い

### 【主体的・対話的で深い学び】

- ・学習した内容を見直し、次の学習につなげている
- ・自分の考えが伝わるように工夫して発表している
- ・課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる。

### 【家庭学習・読書】

- ・学校の授業時間以外での学習時間が長い
- ・自分で学習計画を立てて学習をする
- ・家に本が多くある

### 【学級活動、道徳】

- ・学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決している
- ・道徳の授業では、自分の考えを深めたり、話し合ったりしている

### 【自尊感情・規範意識】

- ・自分には、よいところがあると思う
- ・自分でやると決めたことはやり遂げる

## 結果の公表にあたって

○公表は、他市との比較や学校間の比較による優劣を判断するものではありません。全国的な調査の結果として、分析・考察して、今後の市の施策や学校の指導の改善に生かすために公表するものです。

○公表することによって、保護者や市民の皆様にも市や学校の子どもの状況を理解していただき、改善に向けての取組に協力していただくために公表するものです。

○「市の結果」、「他の学校の結果」は市のホームページでもご覧になれます。



海老名市 全国学力

検索



### 【市の結果についての問い合わせ先】

電話 046-235-4919

海老名市教育委員会教育支援課 指導係



門小っ子のすべり台 since 1975